

「コロナ・ショック」と3月

今日で3月も終わりだ。いつもと違う3月である。現役の頃は、3月というと学年末の仕事に追われ、学生たちとの「別れ」のとき。卒業式とパーティには毎年「出席」して、ゼミ生らにエールを送り、教師として私なりの「区切り」をつけたものだ。

ことは「コロナ・ショック」により、大学の風景も様変わりしている。写真は大阪市立大学キャンパスの本館前。大阪市大の卒業式も中止となり、「祝 ご卒業」の掲示、赤い敷物と花が設けられていた。ここで卒業の記念撮影をするのであろう。学生のいないキャンパスは、なんだか寂しかった。芝生の向こうには、馬術部の馬がのんびりと草を食べていた。



3月初旬に突然、図書館が休館となった。当初は20日までの予定が、4月8日まで延長された。入学式も中止、講義の開始も23日からとなり、図書館がいつ再開するのか予断を許さない。

大阪市大に続き、大阪市立中央図書館も休館となり、ここも休館が延長されている。平日は大阪市大、土曜日は大阪市立中央図書館を定期的にご利用してきたので、私にとって大きな「コロナ・ショック」だ。とりわけ新聞の読み比べ、中央図書館での地方紙のチェックができないのが痛い。

自宅に閉じこもることもあるが、どうも調子が出ない。いつものように歩かないと、心身ともに不調を来す。それで満員電車を避けて(私にとって時差通勤)、大阪市大などに出かけるようにしている。最近よく利用しているのが、大阪市役所の「市民情報プラザ」である。前から大阪市関係の資料をチェックするために、定期的にご利用してきたが、図書館休館後には「図書館代わり」に活用させてもらっている。



名古屋にいた頃も、名古屋大の図書館が試験期間で利用できないときには、名古屋市役所「市民情報センター」をよく利用した。ここでは新聞各紙が閲覧でき、「情報公開請求コーナー」もあり、利用者は多かった。情報公開請求のやりとりが耳に入ってきた。

大阪市役所「市民情報プラザ」は、新聞がないこともあり、利用者はあまり多くない。写真のように、机を独占して作業することができる。情報公開関係は別の部屋なので、とにかく静かである。ここで長らく働いている人から、いろいろ情報をもらうこともできる。「報道関係資料」など、ホットな情報が得られる。先日はカジノ誘致「延期」の知らせを入手して、ここから仲間らに発信した。さて、4月はどうなるであろうか。

(2020年3月31日)